

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		11 06 08	中期総合計画主要施策番号		3-08	担当課	部・課	建設部 砂防課
事業名		雪崩対策事業(公共【砂防】)					内線	3470
							E-mail	sabo@pref.nagano.jp
事業の概要等	事業の目的	・雪崩による災害から住民の生命、財産を保全するため、雪崩対策施設を整備する。						
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・長野県内では雪崩により、住民の生命・財産が危険にさらされている。						
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・長野県は地形が急峻で降雪量が多いため、雪崩により災害が起きる可能性が高い集落が数多くある。						
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・豪雪地帯に指定された地域において、主として集落の保護を目的とする雪崩対策を行ない、住民の生命・財産を保護する必要がある。						
	事業内容	豪雪地帯に指定された地域において、主として集落の保護を目的とする雪崩対策を行なう。 ・雪崩対策事業(補助率:〔国〕1/2、〔県〕1/2)						
実施期間	S62 ~		根拠法令等	豪雪地帯対策特別措置法・地方財政法16条,第五次長野県総合雪対策計画				
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価
	第五次長野県総合雪対策計画に基づき、雪崩対策施設の整備を行い、雪崩による災害から住民の生命・財産を保全する。 (平成23年度までの対策実施箇所数22箇所)		事業の進捗を図り、H20年度末における対策実施箇所数20箇所まで増加させる。			雪崩対策の整備を行い平成20年度末に対策実施済20箇所とし、下流の集落を保全した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要	
	最終予算額 (A)		千円	150,000	193,994	170,000	国庫・県単	公共
	決 算 額 (B)		千円	197,643	202,621		実施方法	直接
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	5,822	6,311	5,000	歳出節別内訳等 (単位:千円)	予算現額(最終予算額+繰越額等) 255,478 1箇所当り平均工事期間 6.7年
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.00	1.00	1.00		
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	197,643	202,621	170,000		
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績	
	雪崩対策事業実施箇所数		箇所	3	4	3		
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明					
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・平成18年豪雪では集落の孤立化などが発生しており、雪崩に対する住民の危機意識は高く、対策要望は多い。 ・雪崩対策は、実施要領により県が対応することとなっている。 ・事業の実施はコスト縮減などにより、有効的・効率的に行っている。	
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり			
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり			
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり			
	課題の総括		・引き続き、箇所毎の事業内容を精査し、効率的、計画的な事業執行を図ることにより、雪崩による災害から生命・財産を保護する必要がある。					